

*: 2012年3月改訂
2011年10月(記載要領変更に伴う改訂)

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品

ビタミンB₂・ビタミンP配合

総合かぜ薬

プレコール®感冒カプセル 特納用

プレコール感冒カプセルの特徴

かぜにかかると、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛等のさまざまな症状があらわれてきます。本剤は、くしゃみに始まるかぜのひきははじめから、せき、のどの痛み、発熱、頭痛等のかぜの諸症状に良く効くよう有効成分を配合した非ピリン系のかぜ薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含む内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
(眠気等があらわれることがあります)
4. 服用前後は飲酒しないで下さい。
5. 長期連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 授乳中の人
 - (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)
 - (5) 高齢者
 - (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (7) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
 - (8) 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 *急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
*腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

□のかき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

次の量を、水又はお湯で服用して下さい。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2カプセル	3回 (食後なるべく30分以内)
15 歳 未 満	服用しないで下さい。	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 用法・用量を厳守して下さい。

(2) カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



成分・分量

成 分	分 量 (6カプセル中)	はたらき
アセトアミノフェン	660 mg	非ピリン系の解熱鎮痛成分で「かぜ」による熱を下げ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛みをやわらげます。
エテンザミド	400 mg	
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5 mg	鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの不快感等のアレルギー症状を取り除きます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60 mg	気管支をひろげ、せきをしずめます。
無水カフェイン	75 mg	痛みをおさえるはたらきを助けます。
リボフラビン(ビタミンB ₂)	9 mg	かぜの時に消耗しがちなビタミンを補給します。
ヘスペリジン(ビタミンP)	40 mg	

添加物:乳糖、CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、ゼラチン、酸化チタン、黄色5号、ラウリル硫酸Na

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤に配合されているリボフラビン(ビタミンB₂)により、尿が黄色になることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

本品についてのお問い合わせは、下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室
〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10
電 話 03(5205)8331
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

®登録商標



販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
東京都中央区日本橋3-14-10

製造販売元
東亜薬品株式会社
富山県富山市水橋開発277番10

C